

修士論文執筆要領

1. 原稿の様式

原稿はワープロでA4用紙に横書きとし、修士論文用フォームをダウンロードし使用すること。詳細は、ホームページの記入上の注意に従うこと。

ホームページ：<https://www.am.nagasaki-u.ac.jp/gs/gakui/index.html>

2. 記載方法：

1) 表紙、目次、本文（緒言～引用文献）の余白は上下左右30mmとすること。

2) 表紙の記載事項および文字のポイント等はフォームを参照すること。

3) 目次および本文の記載方法

・フォント：日本語；MS明朝，英数字；Times New Roman

・ポイント：11ポイント

・句読点：「，」 「．」

・文字数35文字，行数35行とする。

・外国語の人名は言語のまま，地名など固有名詞は原語のままか，カタカナとする。

・度量衡単位はCGS 単位でm, mm, mm³, l, dl, ml, kg, g, mg 等とする。

・文献：本文中に引用したもののみをあげ，本文中に文献番号を肩番号として付ける。

・文献の記載方法:

a. 雑誌：著者名（全員）：表題，雑誌名，巻（号），頁（始・終頁），発行年（西暦）。

1. 今井芳枝，雄西智恵美，坂東孝枝：治療課程にある高齢がん患者の“がんと共に生きる”ことに対する受け止め，日本がん看護学会誌，25(1)，14-23，2011.

2. Clark FJ, Stovall EL：Advocacy-The cornerstone of cancer survivorship, Cancer Practice, 4(5), 239-244, 1996.

b. 書籍：著者名（全員）：書名，発行所名，発行地，発行年，（巻数），引用頁。

1. 尻子富士郎：老化，医学書院，東京，1974，147-154.

2. Block S, Kriger HP：The basis of clinical neurology, 8th ed, Williams & Wilkins, Baltimore, 1963, 63-75.

c. 編著：著者名（全員）：表題. 書名，編集者名，発行所名，発行地，発行年，（巻数），引用頁。

1. 佐野勇：Parkinson 病. 脳疾患の最近の進歩，時実利彦編，新宿書房，東京，1974，99-123.

2. Siegel IM：Orthopedic correction of musculoskeletal deformity in muscular dystrophy in Advances in Griggs RC, Moxley RT (eds.), Neurology, Vol 17, Raven Press, New York, 1973, 343-364.

d. オンライン雑誌：著者名（全員）：表題，雑誌名，発行年. doi.

1. Fawole B, Hofmeyr GJ. Maternal oxygen administration for fetal distress. Cochrane Database Systematic Review 2012;12:CD000136. doi:10.1002/14651858.

e. 電子メディア：著者名（全員）：表題. 出典アドレス，[検索日]。

1. Ministry of Labour, Health and Welfare, Annual Health, Labour and Welfare Report 2011-2012 Overview of the system and the basic statistics. General Welfare and Labour. 2012.: <http://www.mhlw.go.jp/english/wp/wp-hw6/dl/01e.pdf> [2014.8.26]

4) ページの記載

・本文および図表には通しページ数を用紙の下中央に記載する。

・資料には，本文・図表とは別にした通しページ数を用紙の下中央に記載する。